

令和4年度 要 望 書

福島県高等学校PTA連合会

1 教育環境の整備充実について

- (1) 県立高等学校改革による学校の再編・統合に際し、校舎方式等の対応において学習や部活動に支障のないよう配慮をお願いするとともに、それぞれの計画に十分な理解を得ながら、地域の公立学校として特色と魅力ある学校づくりをお願いしたい。
- (2) ICT 教育環境の整備に当たっては、ハード面のみならずリアルとオンラインのハイブリッドで学びの質を高められるよう、GIGA スクールサポーター等の外部人材の活用や先生方のスキルアップの支援もお願いしたい。
- (3) コロナウイルスの変異株が次々に現れ、感染流行の波が繰り返される中、学校における予防対策、感染者が出た場合の迅速かつ的確な対応、クラスター発生や二次被害の防止等、学校生活における安心安全の確保のため臨機応変の対応をお願いしたい。

2 生徒の進路実現のための支援について

- (1) 新規高校卒業予定者の雇用確保のため、関係各所への積極的な働きかけをお願いするとともに、ミスマッチによる早期離職を防ぐため、就職支援員の配置や先生方のキャリアカウンセリング技術の向上によって、よりきめ細かな指導ができるよう支援をお願いしたい。
- (2) 生徒たちが現役で希望の進路を達成できるよう、学力向上及び進学指導のさらなる充実をお願いしたい。特に新学習指導要領に基づく思考力・判断力・表現力を十分に伸ばすとともに、多面的な考え方により答えを見出す力の育成をお願いしたい。

3 生徒の健全育成について

- (1) ネットトラブル、薬物の乱用、性非行等から生徒たちを守るため、関係機関等と一体となった対策強化をお願いするとともに、生徒たちのメンタル面のサポートのため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの相談機会の、一層の確保・充実をお願いしたい。
- (2) 教職員の多忙化解消の取組が進む一方で、生徒の学習活動の充実を図るための学習支援員やスクールサポートスタッフの増員、部活動の一層の充実を図るとともに合同チーム等複数校での活動も支援できるよう、部活動指導員の増員及びそれぞれの運用の拡充をお願いしたい。
- (3) 成人年齢の引き下げに伴い、生徒たちは在校中に保護者の同意なく各種契約ができるようになるなど新たな心配が生じており、これまで以上に学校、家庭、地域が連携・協力した主権者教育、消費者教育、金融教育等、生徒たちの社会的自立を促す取組の充実をお願いしたい。

4 学校の教育活動に関する予算等について

- (1) 生徒数の減少、学校規模の縮小に伴い、多くの面で学校の教育活動を支えてきた各単位PTAも財務面で厳しい状況に直面している。学校の教育活動の充実とPTA活動の維持及び活性化のため、学校運営に係る県費等の予算拡充をお願いしたい。中でも、光熱水費や実習の原材料費の高騰、施設設備の修繕費には各学校とも苦慮しており、十分な予算措置をお願いしたい。
- (2) コロナ禍の長期化や不安定な国際情勢が生活全般に大きな影響を与えており、家計の急変を考慮した各種支援金・給付金・奨学金等の拡充や支給要件の見直しにより、経済的理由で生徒の就学・進学の手続きが滞らないよう配慮をお願いしたい。